

ON YOUR SIDE REPORT

2015.6

京都中央信用金庫の現況

2015年度第1四半期（2015年4月1日～6月30日）における経営情報を開示いたします

当金庫の概要（平成27年6月30日現在）

本店所在地 / 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町91番地
創立 / 昭和15年6月18日
預金積金残高 / 4兆3,903億円
貸出金残高 / 2兆2,887億円
出資金 / 213億円
会員数 / 234,487人
店舗数 / 129店舗
職員数 / 2,754人

（注）この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

T O P I C S

■2015年4月1日～6月30日

4月

APRIL

- ・第121回「中信禅サークル」≪天龍寺≫開催
- ・「京税中信クラブ」親睦ゴルフ例会開催
- ・第44回「中信杯 全京都学童軟式野球春季大会」決勝戦・表彰式
- ・「創立75周年記念 京都中央信用金庫所蔵品展－花紀行－」開催（中信美術館 14日～5月17日）
- ・第109回「中信青年経営者倶楽部」引継例会開催
- ・創立75周年記念『中信ミックスプラン』取扱開始（24日～平成28年3月31日）

5月

MAY

- ・「クールビズ」実施（1日～9月30日）
- ・店舗外ATM奈良支店 近鉄百貨店奈良店出張所 開設
- ・第43回「中信チャリティーオープンゴルフ大会」開催（13～15日）
- ・「中信経済講演会」開催
- ・『滋賀健康創生金融サポート推進事業』における取扱金融機関の指定および『健康創生産業の振興に関する協定』を締結
- ・当金庫および公益財団法人 中信美術奨励基金所蔵の美術品収蔵庫新設に伴う竣功祭挙行
- ・第28回「京都美術文化賞」贈呈式挙行（公益財団法人 中信美術奨励基金）
- ・「創業支援融資」専用商品『京都中信 創業スタートダッシュ』、日本政策金融公庫「中小企業経営力強化資金」協調融資『スタートダッシュ・ツイン』取扱開始

6月

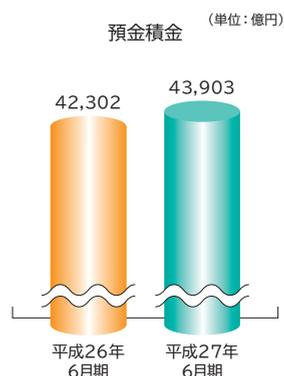
JUNE

- ・「創立75周年記念 京都中央信用金庫所蔵品展－静かなる美と物語を画く－」開催（中信美術館 4日～7月8日）
- ・店舗外ATMくずは支店 京阪樟葉駅出張所 開設
- ・第170回「中信味覚の会」≪中村楼・L' EMBELLIR≫開催（8日～7月2日、全14班）
- ・高橋 久春 執行役員就任
- ・平成27年度奨学生合格証授与式ならびに奨学生交流会開催（公益財団法人 中信育英会）
- ・「中信青年経営者倶楽部」親睦ボウリング大会開催
- ・全店舗にAED（自動体外式除細動器）を設置完了
- ・第75期通常総代会開催
- ・執行役員 大上 浩史、植村 幸弘 理事就任
- ・理事・相談役 坂本 勝、理事 井上 博隆 退任
- ・第43回「中信チャリティーオープンゴルフ大会」善意金 公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団へ寄託
- ・ディスクロージャー誌『京都中央信用金庫の現況 ON YOUR SIDE REPORT 2015』・『京都中央信用金庫ミニディスクロージャー誌2015』発行

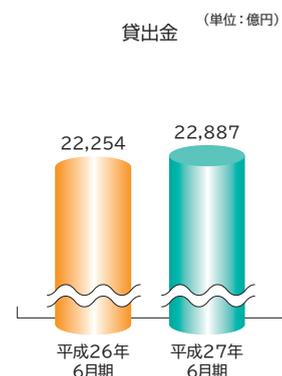


預金・貸出金の状況

預金積金については、年金受給口座の増加等により個人預金が順調に推移しました。また、法人預金も増加した結果、平成27年6月期の残高は、前年同期比1,601億円増加し、4兆3,903億円となりました。

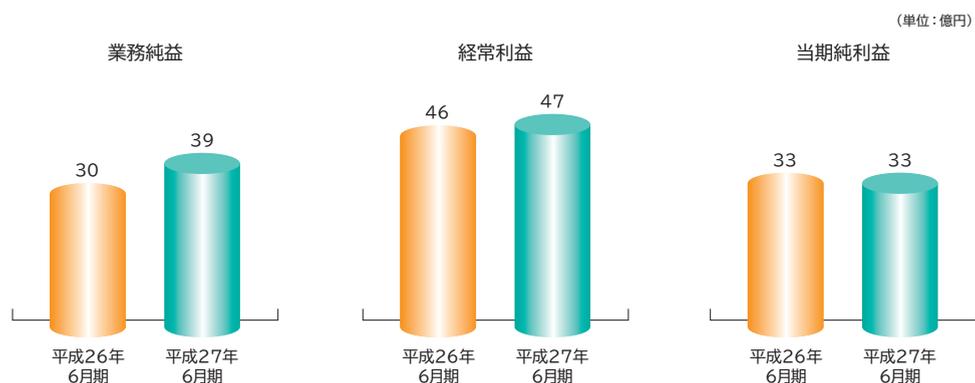


貸出金については、経済環境が好転し景気が回復しつつある中、地元中小企業者や一般個人のみならずへの円滑な資金供給を積極に行った結果、平成27年6月期の残高は、前年同期比632億円増加し、2兆2,887億円となりました。うち、中小企業等向け貸出金は2兆1,426億円となりました。



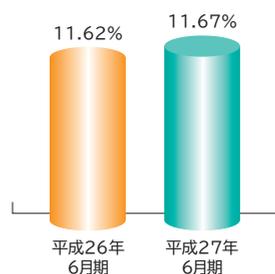
損益の状況

平成27年6月期における業務純益（金融機関の本業に係る利益）は前年同期比8億円増加し39億円となりました。また、経常利益は前年同期比1億円増加し47億円、当期純利益は同0.8億円増加し33億円となりました。



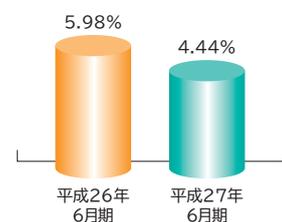
自己資本比率の状況 (単体)

平成27年6月期の自己資本比率は、内部留保を順調に積み上げたこと等により、前年同期比0.05ポイント上昇の11.67%となり、金融機関の健全性を示す基準となる水準（国内基準：4%）を大きく上回っております。



開示債権の状況

平成27年6月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は1,018億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は4.44%となりました。



(注1) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注2) 中小企業等とは、資本金の額又は出資の総額が3億円（ただし、卸売業は1億円、サービス業は5千万円、小売業は5千万円）以下の法人たる事業者又は常用する従業員の数が300人（ただし、卸売業は100人、サービス業は100人、小売業は50人）以下の事業者及び個人です。

預金・貸出金の状況

(単位：百万円)

	平成26年6月期	平成27年6月期	増減
預金積金(A)	4,230,215	4,390,342	160,126
貸出金(B)	2,225,473	2,288,725	63,251
預貸率(B/A)	52.60%	52.13%	△0.47%

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

損益の状況

(単位：百万円)

	平成26年6月期	平成27年6月期	増減
業務純益	3,082	3,954	871
経常利益	4,614	4,785	171
当期純利益	3,305	3,393	87

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

自己資本比率の状況(単体)

(単位：百万円)

	平成26年6月期	平成27年6月期	増減
自己資本額(A)	226,497	233,790	7,293
リスク・アセット等(B)	1,948,583	2,003,191	54,608
自己資本比率(A)/(B)	11.62%	11.67%	0.05%

(注1)上記の数値は速報値です。

(注2)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

(注3)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による開示残高	平成26年6月期	構成比	平成27年6月期	構成比	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	64	0.29%	74	0.32%	10
危険債権	1,161	5.20%	886	3.86%	△274
要管理債権	109	0.49%	57	0.25%	△51
小計	1,334	5.98%	1,018	4.44%	△315
正常債権	20,974	94.02%	21,943	95.56%	969
合計	22,308	100.00%	22,962	100.00%	653

(注1)上記の数値は速報値です。

(注2)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。